

福井県の農林水産業の概要

特徴・取組

福井県は、嶺北(れいほく)と嶺南(れいなん)に分けられる。
嶺北東部は高い山々が連なり、その河川流域では、盆地や平野が形成されている。嶺北北部も高い山々が連なっているが、北西に向かって低くなり、あわら市と坂井市の北部にまたがる坂井北部丘陵地や、海岸線沿いに広がる三里浜砂丘地が形成されている。
嶺南は、リアス式海岸線で、小さな平野が細長く続いている。
海岸沿いは、対馬海流の影響を受け、冬でも比較的暖かく、雪の量もそれほど多くない。

福井県の主な産業としては、合繊織物を中心として総合産地を形成している繊維産業をはじめ、機械産業、眼鏡産業(眼鏡枠は全国生産の約90%)等がある。一方、県内には15基の原子力発電所があり、関西経済圏へのエネルギー供給基地となっている。

福井県発祥のコシヒカリを中心とした水稻のほか、作付面積、収穫量ともに全国1位の六条大麦をはじめ大豆、そばが本格的に生産されている。また、メロン、すいか、らっきょう、うめなども作付けられているほか、平成28年「吉川ナス」、「山内かぶら」、平成29年「上庄さといも」、「若狭小浜小鯛ささ漬」、平成30年「越前がに」がG Iに登録されている。

福井県は、みどりの食料システム法に基づく環境負荷低減に取り組む計画認定者数が全国1位(R7.1月末現在)であり、越前市においては、「オーガニック都市宣言」を行い有機農業の産地化を目指すなど、環境にやさしい農業の拡大に向けた取組を県内各地で進めている。
また、福井県は食育の先駆けの地とされ、これは、本県出身で陸軍薬剤師であった「石塚左玄」が、日本で初めて食育という言葉を書き表したことに由来する。中でも、小浜(おばま)市では「御食国(みけつくに)若狭おばま」として、食のまちづくり条例を制定し、市全体で食育を推進している。

福井県は恵まれた海域環境の中で、定置網、底曳網等の漁業やとらふぐ、まだい等の養殖業が営まれ、全国で唯一、皇室へ献上している越前がに、若狭かれい等をはじめ、若狭ふぐ、日本三大珍味のひとつである越前うに(塩うに)など、多くの特産品がある。
また、平成31年2月に「三方五湖の汽水湖沼群漁業システム」が日本農業遺産に認定されている。

主な農林水産物

水稻

全国の作付面積1位を誇る「コシヒカリ」は、福井県が発祥。
新品種「いちほまれ」は暑さに強く、食味も良い。



そば

良食味の在来種にこだわり、古来より受け継がれた「種」を守り栽培。
(収穫量全国6位)



うめ

果肉が厚く高品質の福井梅。代表品種は、梅干し用の「紅映(べにさし)」と梅酒に使う「剣先(けんさき)」。
(収穫量全国8位)



スイセン

「越前水仙」は、花がひきしまり、香りが強く、日持ちと草姿が良い。華道家にも人気が高く全国へ出荷。



さといも

「奥越の里芋」は知名度が高く、小ぶりで身が締まり固くて煮崩れしないのが特徴。中でも、上庄地区で栽培されるものは、「上庄さといも」としてG I登録されている。



六条大麦

全国でも有数の産地。ご飯に混ぜて食べる押し麦などに利用。
(作付面積・収穫量全国1位)



トマト

県が育成した品種「越のルビー」は、大玉トマトとミニトマトの中間のちょうど良い大きさ。糖度が高く、ビタミンCも豊富。



メロン

丘陵地や砂丘地を主体に最も多く作付けされている「アールスメロン」は、贈答用として重宝。



らっきょう

小粒で身が締まり繊維が細かく歯切れの良いのが特徴。2度冬を越す「三年子(さんねんご)」は福井ならではの栽培方法。
(収穫量全国6位)



ずわいがに

G I産品である「越前がに」が有名。漁獲後水揚げまでの間冷温で保管されるため、鮮度が良く、身質が良い。福井県により100年以上にわたり皇室に献上されている。
(漁獲量全国3位)



福井県内の各地域における農林水産物

県全域

【農畜産物】

水稻：代表品種

①コシヒカリ②ハナエチゼン③あきさかり④いちほまれ

六条大麦、そば、大豆、大玉トマト、中玉トマト、ねぎ、ブロッコリー

畜産：若狭牛(肉用牛)、ふくいポーク(豚)、福地鶏、鶏卵

【林産物】

すぎ、あかまつ、くろまつ、しいたけ、香福茸(しいたけ)、えのきたけ、ひらたけ、木炭

【水産物】

越前がに(ズワイガニ)、さわら類、ふくいサーモン(ます類)、ブリ類

嶺北(れいほく)地域

【農産物】

だいこん、にんじん、キャベツ、ほうれんそう、すいか、メロン、かぶ、上庄さといも、たけのこ、とみつ金時(さつまいも)、らっきょう、スイセン、きく、日本なし、かき、なつめ

【林産物】

九頭竜まいたけ(まいたけ)、なめこ、越前オウレン(※)

【水産物】

ふくい甘えび(ホッコクアカエビ)、越前うに(バフンウニ)
越前がれい(アカガレイ)、あゆ

※オウレンは、日本原産の多年草で、山林の下に自生しており、薬用として根茎が利用されている。

嶺南(れいなん)地域

【農産物】

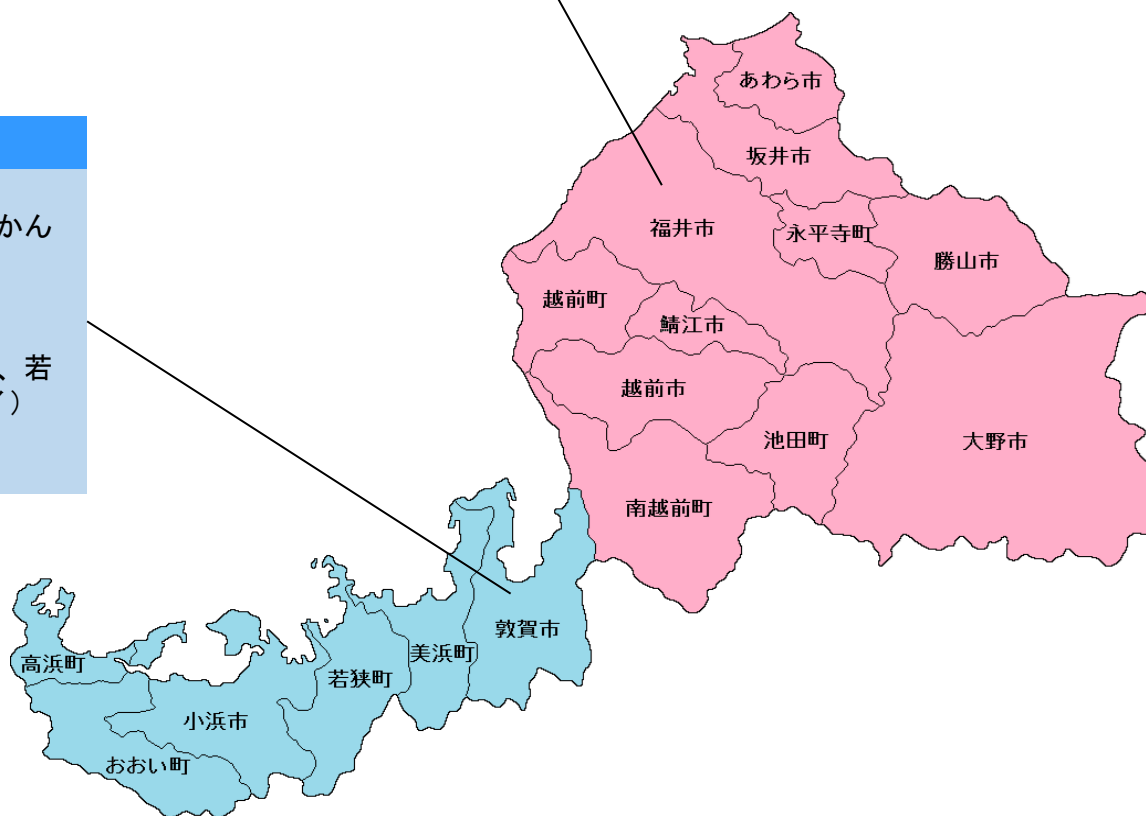
うめ、イチジク、きゅうり、そらまめ、レタス、いちご、みかん

【林産物】

研磨炭(木炭)、つばき油、熊川葛

【水産物】

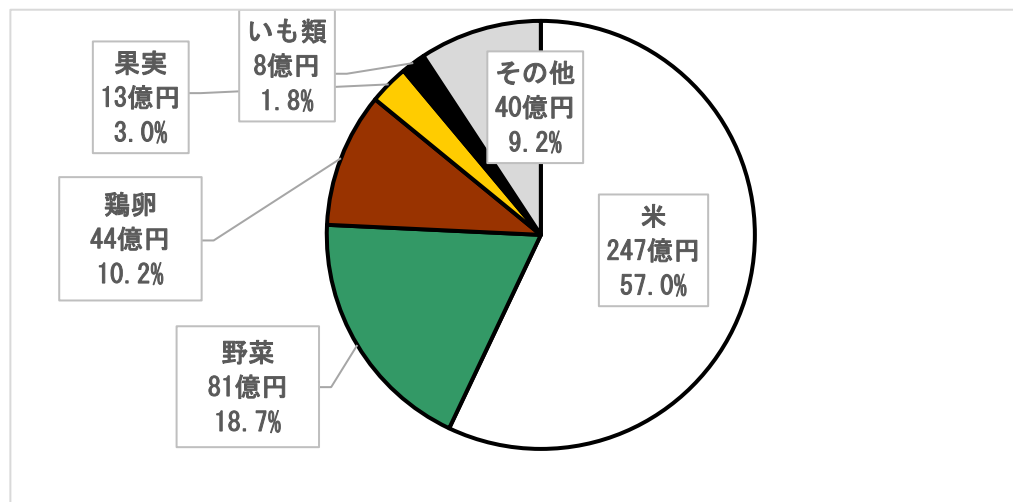
若狭ふぐ(養殖トラフグ)、まだい(養殖)、若狭まはた、若狭ぐじ(アカアマダイ)、若狭がれい(ヤナギムシガレイ)
カキ類(養殖を含む)



福 井 県 の 農 業 (1)

- ・農業産出額は433億円で全国44位。うち米が247億円（57.0%）、野菜が81億円（18.7%）、畜産が65億円（15.0%）。
- ・農畜産物の生産状況は、六条大麦が全国1位、そば、らっきょうが6位、うめが8位、非結球レタスが9位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分		年次	福 井 県	全 国	全国順位
水稻	収穫量	R6	124,800 t	7,345,000 t	21
六条大麦	収穫量	R6	12,100 t	54,100 t	1 *
そば	収穫量	R5	1,930 t	35,600 t	6 *
ほうれんそう	収穫量	R5	647 t	206,800 t	32
さといも	収穫量	R5	2,580 t	126,700 t	14
ブロッコリー	収穫量	R5	495 t	171,400 t	31
メロン	収穫量	R5	601 t	145,200 t	11
うめ	収穫量	R6	746 t	51,600 t	8
らっきょう	収穫量	R4	215 t	6,700 t	6
非結球レタス	収穫量	R4	1,720 t	73,400 t	9

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「地域特産野菜生産状況」

農業産出額のデータ

区 分	福井県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	433 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	44
米	247 億円 (57.0)	15,193 億円 (16.0)	24
麦類	5 億円	678 億円	14 *
雑穀	5 億円	77 億円	6
豆類	3 億円	572 億円	23
いも類	8 億円	2,301 億円	27
野菜	81 億円 (18.7)	23,243 億円 (24.5)	46
果実	13 億円 (3.0)	9,590 億円 (10.1)	46
花き	4 億円	3,522 億円	47
工芸農作物	0 億円	1,467 億円	45
その他作物	2 億円	585 億円	29 *
畜産	65 億円 (15.0)	37,212 億円 (39.2)	44
肉用牛	8 億円	7,696 億円	45
乳用牛	8 億円	9,249 億円	46
生乳	8 億円	8,310 億円	46
豚	2 億円	7,194 億円	44
鶏	47 億円	12,033 億円	38
鶏卵	44 億円	7,413 億円	34
ブロイラー	2 億円	4,471 億円	37 *
その他畜産物	0 億円	1,041 億円	45
加工農産物	1 億円	513 億円	33

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：() は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「0」：単位に満たないもの(例：0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

福井県の農業（ 2 ）

- ・耕地面積は3万9,500haで全国33位。うち田が3万5,800ha、畑が3,660ha。
- ・農業経営体数は1万546経営体で全国44位。うち法人経営体が414経営体で34位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は1,141経営体で全国43位。うち法人数が429法人で30位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が1億円で全国14位、経営体数は20経営体で14位。

耕地面積

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
耕地面積	39,500 ha	4,272,000 ha	33
田	35,800 ha	2,319,000 ha	27
畑	3,660 ha	1,952,000 ha	45
普通畑	2,610 ha	1,118,000 ha	42
樹園地	777 ha	248,600 ha	45
牧草地	267 ha	585,900 ha	30
参考）総土地面積	4,190.59 km ²	377,975.68 km ²	34

出典：「令和6年耕地面積（7月15日現在）」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	742 ha	256,676 ha	43

出典：「令和5年度の荒廃農地面積（令和6年3月31日現在）」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
農業経営体数	10,546 経営体	1,075,705 経営体	44
法人経営体	414 経営体	30,707 経営体	34
総農家数	16,058 戸	1,747,079 戸	44
販売農家	9,777 戸	1,027,892 戸	44
参考）世帯総数	291,662 世帯	55,830,154 世帯	45
集落営農数	562 集落営農	13,998 集落営農	9

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、「令和6年集落営農実態調査結果（令和6年2月1日現在）」

担い手への農地の集積状況

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	27,723 ha	2,593,345 ha	22
集積率	70.0 %	60.4 %	5

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和5年度版）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	8,767 人	1,363,038 人	45
男	5,711 人	822,144 人	45
女	3,056 人	540,894 人	44
65歳以上	7,242 人	948,621 人	45
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	82.6 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	1,141 経営体	216,784 経営体	43
法人数	429 法人	29,128 法人	30
参考）人口総数	766,863 人	126,146,099 人	43

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和6年3月末現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 3,080 百万円 事業体数 320 事業体	999,786 百万円 27,760 事業体	44 35
農産物直売所	総額 10,078 百万円 事業体数 120 事業体	1,126,420 百万円 21,240 事業体	44 45
観光農園	総額 140 百万円 経営体数 20 経営体	37,281 百万円 5,050 経営体	44 41
農家民宿	総額 107 百万円 経営体数 20 経営体	5,352 百万円 1,140 経営体	14 * 14
農家レストラン	総額 392 百万円 事業体数 20 事業体	39,434 百万円 1,360 事業体	36 * 21

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

福 井 県 の 林 業

- ・林業産出額は17.9億円で全国40位。うち木材生産が13.6億円、栽培きのこ類生産が4.1億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国32位、まいたけが全国11位、ひらたけが16位、なめこ、あかまつ・くろまつが19位。

林業産出額

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
林業産出額	17.9 億円	5,562.5 億円	40
木材生産	13.6 億円	3,257.0 億円	37
栽培きのこ類生産	4.1 億円	2,199.2 億円	41

出典：「令和5年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
素材生産量	141 千m ³	20,647 千m ³	32
針葉樹	132 千m ³	18,926 千m ³	31 *
あかまつ・くろまつ	2 千m ³	494 千m ³	19
すぎ	115 千m ³	11,917 千m ³	25
広葉樹	9 千m ³	1,721 千m ³	29 *
たけのこ	生産量 36 t	16,528 t	27 *
なめこ	生産量 21 t	23,752 t	19 *
ひらたけ	生産量 7 t	4,372 t	16 *
まいたけ	生産量 115 t	55,290 t	11 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
林野面積	310,195 ha	24,770,201 ha	30
国有林	37,247 ha	7,153,338 ha	23
民有林	272,948 ha	17,616,863 ha	27
人工林面積	123,599 ha	10,133,111 ha	33

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
製材工場数	96 工場	3,749 工場	14
製材用素材の入荷があった工場数	96 工場	3,722 工場	13
国産材のみ	70 工場	3,116 工場	19
国産材と輸入材	26 工場	511 工場	4

出典：「令和5年木材統計」

林業経営体数

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
林業経営体数	356 経営体	34,001 経営体	34
法人経営体	45 経営体	4,093 経営体	33

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

福 井 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は90億円で全国34位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のさわら類が全国1位、ずわいがにが3位、海面養殖業の真珠が7位、ふぐ類が8位。
- ・ 漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が14億円で全国1位、経営体数は100経営体で1位。

漁業産出額

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	90 億円	15,265 億円	34
海 面 漁 業	83 億円	9,534 億円	28
海 面 養 殖 業	7 億円	5,731 億円	30

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	648 経営体	65,662 経営体	30
内水面漁業経営体数	48 経営体	4,076 経営体	23

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	1,060 人	121,389 人	31
男	1,004 人	109,757 人	31
女	56 人	11,632 人	27

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
漁船隻数	975 隻	109,283 隻	30
動力漁船	587 隻	58,906 隻	30

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	9,805 t	3,777,921 t	35 *
海面漁業漁獲量	9,455 t	2,926,411 t	33
さわら類	1,429 t	10,730 t	1
ずわいがに	450 t	2,392 t	3
海面養殖業収穫量	350 t	851,509 t	33 *
真珠	14 kg	12,298 kg	7 *
ふぐ類	79 t	2,742 t	8 *
内水面漁業・養殖業生産量	35 t	51,908 t	35 *
内水面漁業漁獲量	30 t	21,567 t	22 *
あゆ	29 t	1,697 t	9 *
内水面養殖業収穫量	5 t	30,341 t	44 *
その他のます類	1 t	2,067 t	28 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分		福 井 県	全 国	全国順位
水産加工	総額	127 百万円	179,159 百万円	37 *
	事業体数	20 事業体	1,220 事業体	18
水産物直売所	総額	278 百万円	34,988 百万円	28 *
	事業体数	10 事業体	810 事業体	20
漁家民宿	総額	1,386 百万円	5,389 百万円	1 *
	経営体数	100 経営体	540 経営体	1
漁家レストラン	総額	238 百万円	13,249 百万円	15 *
	事業体数	10 事業体	380 事業体	8

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

福井県の農林水産業の話題等（１）

福井県では、令和6年3月に「次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画」を策定し、県民やふくいを訪れる人々を巻き込み、希望あふれるふくいの食・農・環境の実現を目指している。目標達成に向けて、「農業者」「農村住民」「ふくいを訪れる人、県民」を対象とし、『4K（希望あふれる、カッコいい、稼げる、感動）農業の展開』、『人々の笑顔があふれるふくいの農村づくり』、『ふくいの食・農・農村への思い、憧れの醸成』の3つの柱を中心に施策を展開していく。

4 K 農業の展開

①希望あふれる、次世代の担い手の育成

インキュベーション機能（就農初期の負担を軽減するリースハウスの整備等）の整備や園芸カレッジ等により、就農・就業希望者の誘致と定着を進めていく。

農業法人への女性参画の後押しや障がい者と農業者を結びつけるインターンシップの開催、外国人材が働きやすい環境整備など多様な担い手が活躍できる環境づくりを進めていく。

②ふくい農業をけん引するリーディングファームの育成

次世代を担う経営力の高いリーディングファーム（売上1億円を超える企業的な農業経営体）の育成を目指し、令和6年4月には県農業試験場に「農業経営アクセラレーションセンター」を設置。経営体の経営分析から技術的な課題解決まで、多分野の専門家によるコンサルティング体制を整備し、園芸導入や6次化等経営の複合・多角化を支援していく。

③ふくい農業をカッコよくするスマート農業の加速

ICT等の先端技術を活用したスマート農業を取り入れ、飛躍的に高品質化・省力化が進んだ“カッコいい”ふくい農業の実現を目指し、水田農業分野のスマート農業の実装の加速化や園芸・畜産等の分野での実証・導入、さらに超大区画化（2ha以上区画）等のスマート農業に適した基盤整備を推進し、スマート農業を加速させていく。

④稼げるふくい農業の展開

米づくりでは「いちほまれ」をフラッグシップとし、おいしく、暑さに負けない品種の拡大等により競争に勝つ高品質・多収・低コストなふくい県産米の生産に取り組んでいく。

園芸では生産者、栽培園場を団地化し、1つの産地が売上1億円を目指す「園芸タウン」を県内で複数か所整備するなど、魅力ある園芸産地の育成を目指していく。

畜産では新たなオリジナル畜産ブランドを作出・発信するなど、ブランド畜産の振興を行っていく。

4K農業の展開

（希望あふれる・カッコいい・稼げる・感動）

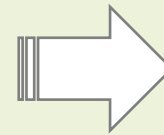
<農業者>

- ①希望あふれる、次世代の担い手の育成
- ②ふくい農業をけん引するリーディングファームの育成
- ③ふくい農業をカッコよくするスマート農業の加速
- ④稼げるふくい農業の展開



売上5千万円

加工・商品開発



売上1億円

園芸の導入

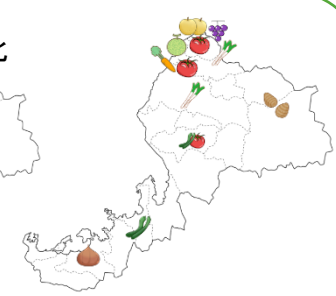
労務・雇用

スマート化

②リーディングファームの育成



①園芸カレッジの整備



④園芸タウンの整備

福井県の農林水産業の話題等（２）

Fukui Forest Design推進プロジェクト

福井県では、令和７年３月に策定した『ふくい森林・林業の未来を切り拓く基本計画』に基づき、大きな林業と小さな林業を組み合わせた福井県独自の取組みである『Fukui Forest Design』を推進し、山の価値を最大化して『稼げる林業』と『山村地域の活性化』を目指している。

- 「主伐・再造林・保育など森林施業の低コスト化」（大きな林業）と「原木の価値に応じた需要の創出」により循環型林業を行い、『稼げる林業』の実現に取り組む。
- ふくい林業カレッジを中心に、主伐の拡大や主伐後の再造林や保育を担う「人材の育成・確保」を推進していく。
- 小規模な道づくりと簡易な機械による木材生産（自伐型林業）と森林を活用したトレイルイベントやマウンテンバイクレースの開催など森林ビジネスの展開（副業）を組み合わせた取組み（小さな林業）により『山村地域の活性化』を図っていく。



主伐地の状況



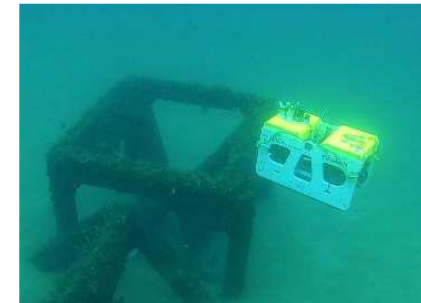
マウンテン
バイクレース

変化に強い持続可能な水産業へステップアップ

福井県では、令和７年３月に『地域とともにふくいの水産業のあしたに架ける基本計画』を策定し、持続可能な魅力あふれる稼げる水産業を目指し、①漁業経営基盤の強化②地域活性化の強化③市場開拓とブランド化の強化を実践していく。

そのうち、①漁業経営基盤の強化については、社会情勢や海洋環境などの変化に強い持続可能な水産業へステップアップするため、次のような取組みを行っていく。

- DXによる資源管理の高度化など「天然資源の持続的な利用の推進」
- ふくい水産振興センターを核とした産学官連携による新魚種・養殖技術の開発・実証など「養殖業の成長産業化と新規参入の促進」
- 経営感覚に優れた水産スペシャリストの育成や、半漁半Xによる様々な働き方の実現のなど「新たな担い手の確保・育成」
- 共同操業や経営統合による複数漁場管理や、スマート水産技術による操業の効率化など「収益性の高い漁業経営体の育成」



自立型水中ドローン
を使った越前がに保護礁調査



陸上養殖の様子